# 守恒小だより

発行者　北九州市立守恒小学校
校長　新森　修二

## ６年生が修学旅行に行きました。

５月１５日（月）１６日（火）の２日間、６年生が修学旅行に行きました。見学地は、１日目が三井港とグリーンランド、２日目は大刀洗平和記念館とマリンワールドでした。

１日目のグリーンランドでは、班で行動しました。本校の子ども達は、人に優しく、そして上手に折り合いをつけることができます。そのため、班の友達ととても楽しそうに過ごすことができていました。

平日のため、園内はそれほど混んでいませんでした。待ち時間もなく、十分に楽しむことができたようです。

２日目は、はじめに大刀洗平和記念館を訪れました。まず、平和集会を開き、全校児童で作製した千羽鶴を奉納しました。その後、太刀洗の歴史に関するＤＶＤを観たり、展示されている資料を見学したりしました。かつてここには大きな陸軍の飛行場があり、たくさんの若者がパイロットを目指して訓練に励んでいたそうです。そして、終戦間近になるとその若者たちが特攻隊として飛び立っていったそうです。また、この地は、激しい空襲を受けたことも学びました。子ども達は命の尊さや平和の大切さを改めて感じたと思います。

午後からは、福岡市のマリンワールドに行きました。アシカやイルカのショーを見た後、ここでも班の友達と見学をしました。楽しそうに海の生き物を観察していました。

修学旅行を通して、きちんとルールを守り仲よく活動する子ども達は、さすが「守恒小の代表」といえる姿でした。素晴らしかったです。

## 運動会の応援、ありがとうございました。

５月２８日（日）の運動会、温かいご声援、ありがとうございました。

どの学年でも一生懸命に走ったり、表現したりすることができました。練習の成果をしっかりと発揮することができたのではないかと思っています。

特に、上学年では自分達で踊りや表現の工夫を考えたり、互いに教え合ったりする活動を通して、主体的な運動会にすることができたと思います。短い練習期間でしたが、よく頑張ることができました。

保護者の皆様には、体調管理を始め、様々な面でご協力いただきました。ありがとうございました。

また、会場設営及び片付けでは、たくさんの保護者の方にお手伝いいただきました。

心より、お礼申し上げます。

## 家庭での教えの大切さについて

先日､1年生の女の子が校長室を訪れてくれて、「昨日は一緒に傘を探してくれてありがとうございました。」とお礼を言ってくれました。

その前日、登校中に傘を無くしたようで、少しですが一緒に探したのです。（その傘は、誰かが届けてくれていました。）

きっとお家の方がお礼を言うようにと教えてくださっているのでしょう。子ども達はこのようにして「感謝」を学んでいくのだと感じました。

他にも、ある子が転んで泣いていると、心配したり、絆創膏を取りに行ったりしてくれる子がいます。優しくて素直な子どもがとても多いと感じています。その優しさもすべてご家庭での指導（教え）によるものだと思います。

ある本で、とにかく「ありがとう」を何度も言葉にすると、脳が「何がありがたいのか」を探すようになり、ありがたいことに包まれると知りました。幸せの第一歩だと考えます。